

Eplan×太陽ケーブルテック Eplan Data Portal活用法

日本のロボット、半導体製造装置、工作機械産業を支える100年企業の電線メーカー 日本市場での実績と製品の認知を海外へ

太陽ケーブルテックは、2023年に創業100周年を迎えた歴史ある電線・ケーブルメーカー。電線・ケーブルの中でも特にFA・産業機械向け、半導体製造装置や工作機械、ロボットといった生産設備向けにフォーカスして事業を展開。海外市場でも日本メーカーが存在感を発揮し、強い領域を電線・ケーブル技術で支えている。

Eplan Data Portalには2016年から製品の登録を開始。日本国内の産業機械メーカーの間ではよく知られ、輸出機械でもよく採用されているが、本格的な海外展開はまだ道半ば。世界中の設計者が利用するEplan Data Portalをステップとして海外での認知度を高め、需要の獲得を目指している。



東京営業部部长・加納祐二氏(右)と東京営業課課長・渡辺一人氏

創業1923年

産業機械向け電線・ケーブルに特化

同社の創業は1923年。大阪を拠点として関西、西日本を中心に電線・ケーブルの製造・販売を行っている。電線・ケーブルと一口にいっても民生品から産業用、グレードもさまざまだが、同社はロボットケーブルに代表されるような産業機械向けを中心に取扱っている。

機械の動きに合わせて引きまわされる可動部用ケーブルと、制御盤内をはじめ機械内部で機器接続に使われる固定ケーブルの両方をそろえ、産業機械に必要なとされる電線・ケーブルは一通り全てラインアップ。同社の電線・ケーブルは半導体製造装置、工作機械、ロボットなど日本で生産して海外へ輸出する機械での採用が多いことから、主要な海外規格を取得しているのが特長。ULとCEマーキングはほぼ全製品で取得済み。300ページ超のカタログに掲載されている製品は在庫を保有し、比較的短い長さにも柔軟に対応し、トータルソリューションとして提案している。

顧客は日本のロボットや工作機械、半導体製造装置メーカーが中心で、それら向けで売り上げの9割を占めるといふ。さらに新規分野として、医療機器や交通インフラ、EV充電器などへの採用を目指し、提案を



強化している。

東京営業部部长の加納祐二氏は「産業機械に必要な電線・ケーブルを取りそろえ、即納や小口にもできるだけ対応し、かゆいところに手が届く形で商売をしています」と言う。

製品登録後、海外からの問い合わせが増加

Eplan Data Portalへの製品登録は2016年からスタート。輸出の多い産業機械の制御盤を手がけている制御盤メーカーからの依頼を受けたのがきっかけで、現在は2300製品を掲載している。特に海外市場での認知度を高めることを目的としている。

「登録を始めた当時は、日本では多くのメーカーに採用され、実績があるにもかかわらず、海外での認知度の低さから採用が限られていました。Eplanは世界で広く使われている電気CADで、日本だけでなく海外でも社名と製品をPRできることに期待してスタートしました」。掲載後は海外でのダウンロードも発生し、ホームページからの問い合わせでも海外からの問い合わせ件数が増加。今のところ期待した効果は出ている様子。「そこまでダウンロード件数が多いわけではないが、肌感覚として、海外からの問い合わせも増

え、それが数年続いており、掲載した効果はあったと感じています。今は月次でダウンロードされたレポートを社内で回覧して情報共有している形です」(東京営業課課長・渡辺一人氏)

日本の強みを生かした製品を海外へ

新製品を定期的に開発・販売しているが、Eplan Data Portalへ登録していない製品もある。その中には海外にはない特長を持つ製品や、市場からの需要が高いもの、中国市場にフォーカスしたものと、ユニークなものも多数存在する。今後はこれらの特長的な製品の掲載も進めていきたいとしている。

例えば「RFXシリーズ」は、柔らかく、U字折り返し500万回をクリアした屈曲性に優れた絶縁電線。1000V RFX-MTW LFは1000V対応でUL CEマーキングに対応し、1000V RFX-SB LFはシールド付でEMC対策が施されたものになっている。海外メーカーの電線は固いものも多く、取り回しにくい、同製品は柔らかく曲げて使えるのが制御盤内の省スペース設計に最適となっている。

「EM-TXT HF」は、ハロゲンフリーの環境配慮型の絶縁電線で、廃棄やリサイクル処理がしやすく、柔軟で、耐熱性125℃、耐

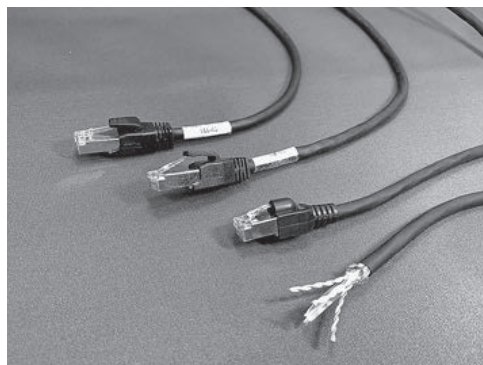
寒性マイナス40℃の厳しい環境でも使えるものとなっている。

このほか産業ネットワークのフィールドバスからEthernet化に伴い、同社でもEtherCAT、CC-Link IE、MECHATROLINK対応のFAイーサネットケーブルなどもラインアップを増やしている。

海外事業の強化、新規領域の開拓に活用

会社として海外展開を強化しており、アメリカに現地法人を設立し、インドに営業拠点の開拓を予定している。また国内でも医療機器など新規分野の開拓も進めている。これらと連動する形で、あらかじめEplan Data Portalの活用方法を考えていきたいとしている。

加納氏は「現在はレポートを見るだけにとどまっていますが、グローバル化して海外事業の強化とリンクさせることで、Eplan Data Portalが案件化のきっかけになるような活用方法が出てくるのではないかと考えています。国内に関しても現在の半導体製造装置、工作機械、ロボットだけに特化せず、医療や医薬、食品、交通インフラ、EV充電器など伸びている業界に対して認知を広げていきたい。多くの産業機械メーカーで採用されているといっても、一部の事業部にとどまっているケースも多くあります。当社の営業担当も全事業部を回っているわけではなく、当社と製品が知られているわけではありません。それに対し、Eplan Data Portalによって、設計者が電気CADを使う時には必ず当社の製品と名前が出てくるようになっていけば啓発活動にもなります。引き続きEplan Data Portalの活用法を検討していきたいと思っています」と話している。



<https://www.taiyocable.com/>

“制御盤 DX” 体験・検証シールーム 2024年9月開設

リタール アプリケーションセンターは、設計段階から、加工、組み立て、配線にいたるまで制御盤の製造工程をデータでつなげて、お客様のプロジェクトの検証を行ないます。カスタマーイベントも随時開催。

◆お問い合わせ◆リタール株式会社 contact@rittal.co.jp

リタール アプリケーションセンター

Join. Apply. Grow.



Rittal Application Center
詳細はこちら

